



Bell Friend

鈴鹿短期大学 鈴友会会報 卒業記念号
平成 22 年 3 月 18 日発行



皆様のご壮健・ご活躍を祈念します



鈴友会名誉会長・学長

佐治 晴夫



鈴友会会長

増田 文子

(昭和 44 年度卒業)

みなさんご存知のとおり、私たちの体はおよそ 60 兆個の細胞からできています。そしてそれぞれの細胞の中には、DNA がらせん状にからみあって、人類始まって以来からの遺伝情報が蓄積されています。そこで、これらの DNA の鎖を真っ直ぐに伸ばしたとすると、その長さは、細胞ひとつあたり、なんと 2 メートル、ということは、60 兆個分をまとめると、1200 億キロメートルになり、地球から太陽までの距離の 800 倍に相当します。その一方で、毎日、全細胞の 1% が生まれ変わっているのですから、一晩で地球から太陽までの距離の 8 倍もの DNA がコピーされ、再生産されているということになります。

このように、細胞の集合体として体を見ると、一日で、これほどまでに変化しているのに、明日も今日と同じ「あなた」でいられるというのは不思議ですね。それは、生物としての特徴が、一代だけに留まらず、長い年月をかけて、脈々と受け継がれてきていることを意味しています。これは、とりもなおさず、すべての存在は、他との大きな絆で結ばれているということです。

鈴友会のみなさんは、同じ伝統の空気の中で、しかも同じ学び舎で勉学に励んだ仲間という絆で深く結ばれています。それは、いつまでも、たしかかな人生の証しとして切れることのない絆です。これからのみなさんのお幸せと今後のご活躍を心からお祈りして、ご挨拶にかえさせていただきます。

109 名にわたる卒業生の皆様、おめでとうございます。言葉に言い表せない思い出をひめながらこの日を迎えていらっしゃる事を同じ学び舎を巣立った者として、今でも鮮明に思い出すことが出来ます。嬉しさ反面、明日からの新しい船出に対する期待と不安。この様な皆様に対し現在おかれている立場を以前の氷河時代とよく比較された事と推測いたします。そして国の内外とわず、とかくチャレンジという名のもとに変革をも求められ問われもしています。そのなかでの皆様の船出でもあります。焦らず、自分を見失うことなく賢明に可能性を開花させてください。言うのは簡単ですが、実行し継続する事は何と至難の業か。この私とて卒業してから仕事を持ち続け、家庭との両立をさせながらアラカンを迎え定年となりひと区切りを終え、現在認知症の実母を在宅看護している老老介護進行形の昨今です。そのなかで私は思います。心掛けています。それは、いつも相手に対する有難うという気持ち、ねぎらい、感謝の気持ちを声に出して言うという事です。心でいくら思っても声に発し、行動に発し外に向かって表現をしなくては相手に自分の意思是、伝わりません。思っているだけでは詭弁に過ぎません。当の私とて、認知のひどくなった母から、有難う、美味しいわと言って食事を口にす言葉聞くことによって何度癒されることか。そして又相乗効果を呼び起こし次へのステップの励みにもなっています。社会生活においても同じ事が言えると思います。

さあ皆さん一歩前に。いついつまでも、何があっても私達同窓会は、同じ学び舎で育った兄弟姉妹家族です。根っこはひとつです。6 月 5 日には総会を開催いたします。その時は元気な顔を見せて下さい。



～会員数は 7,305 名になりました～

昭和 43 年に 29 名で鈴友会が誕生。そして皆さんを迎え、会員数 7,305 名になりました。卒業して社会人の第一歩を踏み出そうとしている今は前途洋々ですが、時を経て、子育てを終え、仕事に一区切り付いた頃、ふと、友人や学舎の思い出が懐かしく、人恋しくなる日が来ると思います。

そんな日の為に、暖かく包める同窓会を皆さんと共に創って行きたいです。

巣立つ皆さんへ・・・贈る言葉

学科長(川又先生)から



短大の2年間は、想像以上にはやく過ぎたと思います。あなたが自分で思っている以上に成長したからです。卒業おめでとう。これからは、自分の信じることに邁進してください。これから私たちは、あなたとは違う可能性をもつ後輩たちに、あなたと同様に真剣に向き合っていきます。たまには、近況報告に来てください。私たち鈴短の教職員には、卒業生の来校が、一つの栄養剤なのです。もちろん、困ったことや辛いときもお気軽にどうぞ。今度は、同じ社会人として語り合しましょう。それでは、また会える日を楽しみに。

同窓会(鈴友会)役員から

あっという間の短大での日々は過ぎ去り、この門出から新しくそして遠くへ続く毎日がまたやってきます。すこし引き締まるような3月の朝に何を胸にいただきましたか。2年前の自分が願った何かに近付きましたか。鈴鹿短大で得たこと、はじめたこと。思い返す数のぶん、きっと成長を遂げています。それぞれの進路の途中に、ずっと将来に、ここで過ごした一つ一つが役に立つでしょう。鈴鹿短大はいつまでもずっとずっと私たちの母校です。皆さんの明日には楽しい事も大変な事もありますが、なにか話したい時や恩師を懐かしむ時は、いつでも訪ねてみてください。

卒業おめでとう！未来へ踏み出す皆さんのこれからが明るく続きますように！
(代表：永岡 宏行 平成16年度卒業・栄養士コース)



幹事紹介

平成21年度卒業生109名は本日、同窓会(鈴友会)に入会します。

そして、私たち6名が幹事を務めさせていただくことになりました。よろしくお願ひ致します。(幹事代表：伊藤咲枝)

生活学



片山あずささん 村主彩奈さん

食物栄養



伊藤咲枝さん 奥山愛美さん

こども学



金城英治さん 小谷優真さん

鈴友会事務局便り

今後、会報Bell Friendは卒業前のアンケートで「希望する」に○をされた方のみ送付いたします。送付先に変更がありましたら、鈴友会事務局までご連絡をお願いします。なお、会報Bell Friendは鈴鹿短期大学HPでも閲覧いただけます。

鈴友会(同窓会)事務局 〒513-8520 鈴鹿市庄野町1250 鈴鹿短期大学内

Tel:(059)378-1020 Fax:(059)379-4693 E-mail:reiyuukai@suzuka-jc.ac.jp